

Ceremony

6月11日(火)、「2代目くろしお号」のお別れと「3代目くろしお号」のお披露目の運行セレモニーを真壁小学校で行いました。当日は、2台のくろしお号で本の貸し出しを行い、児童は楽しそうに何冊も本を抱えてくろしお号から出てくる様子が見られました。



Event

くろしお号パネル展

くろしお号や巡回する各ステーションを紹介！

【場所】

中央図書館

エントランスホール

Event

くろしお号特別貸し出し

3代目くろしお号の特別貸し出しを行います！

【日時】

8月13日(火)～15日(木)

10時～14時

【場所】

中央図書館正面玄関前



糸満市出身 漫画家

大城さとし さん

沖縄タイムス紙にて4コマ漫画「おぼろタイムス」や子ども新聞ワラビーにて8コマ漫画「エイトマン」を連載。

「3代目くろしお号」の人物を引くイラストは、糸満市出身漫画家、大城さとしさんが描くキャラクターの「エイトマン」です。イラストは「くろしお号」の名称をイメージして描かれ、「ブルーが船に乗っていたり、ブラックが島にいたりするのは、本を持ち、黒潮に乗ってやってくるイメージで描きましたと大城さんは話します。

キャラクターそれぞれに特徴があるエイトマン。「食いしん坊のイエローは料理本を、おしゃれなオレンジはファッション雑誌を持っていて、キャラクターの特徴を表しています」と笑います。

「レッドの読み方は、行儀が悪く見えますが、本はリラックスして読むものだと思っています。それに、本は楽しくあってほしい。その思いをキャラクターから感じて、好きなように、楽しく本を読んでもほしい」とイラストに込めた思いを語り、「3代目くろしお号」を利用する多くの人々が、楽しい本、好きな本とたくさん出会ってほしいです」と話しました。

糸満市ヒーロー課!?
くろしお号を
彩るエイトマン!



1991



2013



ついに3代目!
新しい「くろしお号」が誕生!

図書館という枠組みを超えて、地域に寄り添い、本を届け続けてきた移動図書館「くろしお号」。

移動図書館は、児童生徒はもちろん、老人や妊婦、子育て中の保護者など、移動や時間に制限のある人も気軽に無料で本を借りられることが特徴です。

今月は、3代目として生まれ変わった新しい「くろしお号」とその歴史に迫ります。

初代くろしお号 運行スタート!

人目を引きつけるイラストとともに、公民館や小学校などに現れる移動図書館「3代目くろしお号」。現在は月に19日、25カ所を巡回。車両の書架には、絵本や紙芝居、児童書のほか、一般書や郷土資料、雑誌など、約3000冊が並びます。

バリアフリー対応で より多くの人へ

平成25年2月、初代の思い



▲「初代くろしお号」で本を選ぶ子どもたち

移動図書館は、市制施行20周年記念事業の一環として、平成3年に運行がスタートしました。車名は、新聞などで募集し、応募総数192点の中から、「青い海の中を元気に泳ぐ魚のように、糸満の子どもたちもそうあってほしい」という願いが込められた「くろしお号」が選定委員会で選ばれました。

インターネットが 普及した現代だから



▲初代にはなかった車いす用のリフト

インターネットが普及し、ワンクリックで電子図書が手軽に読める現代。しかし、そのような中でも、直接本にふれて読みたいと願う人々へ寄り添う移動図書館の役割は、これからの暮らしの中で価値のあるものになっていくのではないだろうか。

地域で本を心待ちにする私たちのため、「3代目くろしお号」は今日も本を載せて走ります。

を引き継ぎ、「2代目くろしお号」の運行がスタート。初代にはなかった後部室内に車いす用のリフトを設置し、バリアフリーに対応したことで、より多くの市民が本とふれあえるようになり、2代目が運行した期間で延べ10万2千人が利用し、延べ47万2千点の図書が貸し出されました。